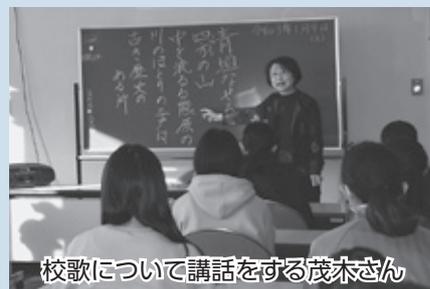


## 1/9 三戸土曜塾の立志科で茂木さんが講話 校歌を学んで故郷を思い出す

八戸学院第二しのみ幼稚園園長の茂木典子さんが、三戸土曜塾の立志科の授業で講話を行い、小中一貫三戸学園三戸小中学校の校歌について、歌詞の意味を子どもたちに伝えました。講話の中で茂木さんは「卒業しても、校歌を通じて仲間と過ごした故郷の風景を思い出してほしい」とメッセージを送りました。9年生の菊地壮一郎さんは「受検までの残り少ない学校生活で、校歌の意味をしっかりと考えて歌ってみようと思いました」と話しました。



校歌について講話をする茂木さん

## 1/26 菅文が町にマスクを寄贈

### コロナ対策などに役立てて

(株)菅文（菅陽悦代表取締役社長）の常務取締役の菅しのぶさんと経営サポート部付部長の氣仙亨昇さんは役場を訪れ、新型コロナウイルス感染症の対策のため、不織布マスク 9,000 枚を町に寄贈しました。菅さんは「コロナ禍で、マスクは必要不可欠。不足したり、必要とするところに役立ててほしい」と話し、松尾和彦町長は「多くの人たちが集まる場面などで、有効に活用していきたい」とお礼の言葉を述べました。



(左から) 松尾町長、菅常務取締役、氣仙部長

## 1/26 文化財防火訓練

### 有事の対応を確認

1月26日の文化財防火デーに合わせ、観福寺で文化財防火訓練が行われました。観福寺には、県重宝である「十一面観世音菩薩坐像」と、町指定文化財である「観福寺山門」があります。訓練は、本堂内でろうそくが倒れて出火した想定で、119番通報や文化財の持ち出しと避難誘導訓練、消火器の使用訓練などが行われました。住職の高杉法昭さんは「大正時代に寺が火災にあっており、火事には気をつけている。今後はさらに防火対策を強化したい」と話しました。



文化財（複製）を持ち出し、  
避難する住職

## 2/12 中居久さん、めでたく 100 歳に

### 食べることが、元気のひけつ

中居久さんが 100 歳を迎え、自宅において、松尾和彦町長から顕彰状と記念品として三戸町産の百年紅玉果汁を使用したジュース 2 本が手渡されました。久さんは、大正 10 年 2 月 11 日に旧斗内村で生まれ、結婚して子 5 人、孫 10 人、ひ孫 15 人に恵まれました。長男の中居正一さん（73 歳）は「母は、昔から好き嫌いがなく、たくさん食べていたことが元気のひけつです。特にお寿司が好物なんですよ」と話し、久さんの長寿を祝いました。



顕彰状を持つ久さん